

政策評価書（要旨） （事前の事業評価）

事業名	魚雷用動力装置の研究	担当部局	管理局開発計画課
政策分野	防衛装備の適正な維持・管理（研究開発）	実施時期	平成15年6～8月

<b>事業の内容</b> 高度の誘導制御性能を可能とする静粛で長距離の航走能力を有した魚雷用動力装置に関する技術資料を得る。	16	17	18	19	20	21	22	23	24	完了年度
	← 研究試作 →					← 研究試作 →				
<b>所要経費</b> 約6億円（16年度要求額。後年度負担額を含む。）			← 試験 →				← 試験 →			

評価の内容

<b>事業の目的</b> 現在、諸外国において魚雷防御能力の向上が盛んに進められている。このような状況に対応するため、静粛性及び長距離航走能力を有する、将来の潜水艦用魚雷の水素・酸素機関を用いた動力装置に関する技術資料を得ることを目的とする。	<b>事業実施の効果・時期</b> 1 事業実施の効果 本事業により、現有潜水艦用魚雷では対処困難になると予想される魚雷防御能力の向上した艦艇に有効に対処しうるエネルギー密度、静粛性及びライフサイクルコスト等に優れた将来の潜水艦用魚雷の動力装置に関する技術資料を取得することができる。 2 事業実施の時期 平成16年度から22年度まで研究試作を実施し、平成24年度までその性能確認試験を実施する予定である。
<b>事業の必要性・適正性</b> 現有の装備に使用している動力装置では、将来必要と考えられる長距離の航走能力に必要なエネルギー密度、静粛性等の性能等を満足できないため早急に研究を進める必要がある。 諸外国においては、唯一米国において相当する研究が行われているようであるが、魚雷に関しては秘匿性が高く、技術の導入は困難であると考えられる。	

今後の対応

目標艦艇の魚雷防御能力の向上に有効に対処できる将来の潜水艦用魚雷実現に不可欠な技術を取得できると評価できることから、平成16年度概算要求を行う。

その他の参考情報